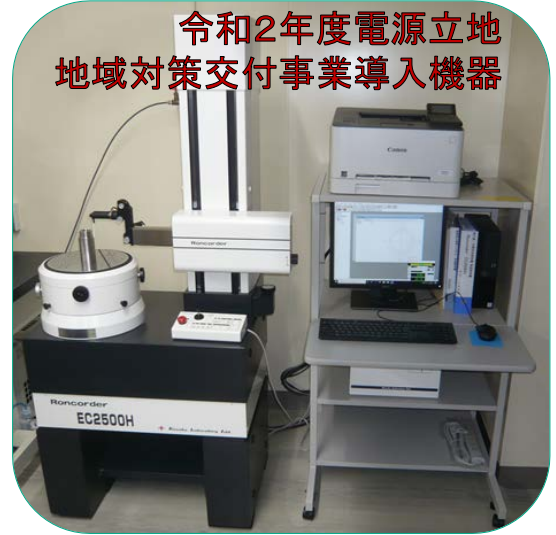


真円度測定機活用セミナー

時下ますますご清祥のことと、お喜び申し上げます。平素より当センターの業務にご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

近年、家電・生産機械・エンジンなど機械の性能や品質は著しい向上が見られます。それを成り立たせているのは、構成する部品の精度によるところが大きいです。特に軸や円筒形状の部品は、あらゆる機械で使用されており、真円度（正しい円からの凸凹等狂いの大きさの度合い）や円筒度（円筒部品内面と外面の立体的な芯ずれの度合い）の測定が重要な役目を果たしています。

今回のセミナーでは、「真円度測定機の用途、使用している業界、対応できる幾何公差」をご紹介いたしますので、機械加工業の方のみならず機械部品を扱う方も対象とした内容となっております。皆様の御参加を心よりお待ちしております。



測定対象部品の例

日程 令和 3年 1月20日(水) 13:30~16:30 ※会場受付：13:00より

会場 北海道立工業技術センター 1階 研修室

〒041-0801 函館市桔梗町379番地

講師 株式会社小坂研究所 精密機器事業部
営業技術課 課長 松島 秀信 氏

受講料 無料

定員 10名

主な内容

13:30 - 13:35

【挨拶】

13:35 - 16:20
(10分休憩含)

- 真円度測定機とは（実例紹介）
- 真円度測定機を使用している業界
- 真円度測定機で対応できる幾何公差
- 実際の真円度測定方法（実演）

16:20 - 16:30

【質疑応答等】

